



# 議会だより

NO.207



## 第2回 町議会定例会

今月号では、4月号に引き続き、3月定例会について、町長の予算編成方針と平成29年度各会計予算案についての総括質疑の内容をお知らせいたします。

### 総括質疑

#### 予算編成方針について

#### ジャガイモシロシスト センチュウ対策について

##### 問①

工藤孝一議員

平成27年に網走市で発生したジャガイモシロシストセンチュウについて、侵入による被害を予想し防止することを含め、本町の馬鈴薯作付けにおける対策や考え方について所見を伺います。

##### 答①

林直樹町長

基幹産業である農業は、経営や輪作体系を確保する上で馬鈴薯が欠かせない作物であると考えております。本町では発生は見ておりませんが、昨年から農林水産省や北海道の指示をいただき、植物検診等を実施しております。これらについては、平成29年度も継続されるのではないかと伺っておりますので、町としてもしっかり対応していか

なければならぬと考えております。

侵入防止については、非常に難しい問題だと認識しており、ビートについては小清水を通って中斜里製糖工場に搬出していること、また、特に種馬鈴薯地帯である神浦地区では、本町に網走から出耕作をしている方々のトラクターやトラックが来ているということもあり、非常に危惧しております。

お聞きいたしますと、神浦地区の方々が自分の圃場で農作業の機械を洗浄する対策を講じたということもお話も聞いておりますので、そういったことも非常に大事なことであろうと思っております。

いずれにしても、防ぐというのは決め手がないわけですが、農林水産省や北海道の指示をいただきながら対応して参りたいと考えております。

##### 再問

私が確認した情報ですが、50数年前に発生した国々では農薬での防除や殺虫は断念しており、

自然に優しい方法として、センチュウトラップブロックや、バイオセキュリティが提案されています。シロシストセンチュウが発生した農家の方々は、畑の移動や農機具の移動のたびに洗浄をしている実態があり、本町へ侵入する可能性を考えた場合、自分達の地域の畑は自分達の方で汚染から守るという意味で、地域に設置されている畑かんの施設を利用しつつ、洗浄施設を地域ごとに配置するということも関係機関と協議しながら検討していただきたいと考えますが、再度所見を伺います。

##### 答②

ご提案については、すぐできますということにはならないので、今後地域の農業者の方々が希望されるのか、ではどこに造った方がいいのか、畑かんの水が利用できるのかを含め、課題はたくさんあるのかと思っております。そういった可能性について検討することは必要であろうと思っております。